

串間市中学校再編基本計画及び実施計画素案等説明会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 2 月 3 日 (月)	時 間	19:00 から 20:31 まで
場 所	有明小学校 プレイルーム		
出席者	保護者 16 名、教職員 2 名、地域住民 1 名 計 19 名		
事務局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	昨年 3 月に基本方針を決めて、実施計画まで出来ている。事後報告でいいのか。	基本方針に基づいて、教育委員会内で議論してきた。お示しした内容は、あくまで計画の素案であり、決定ではない。条例改正や予算の編成を議会に提案するときにはじめて市としての考えが一本化される。その案を議会に提案して議会が承認して、基本計画及び実施計画がさらに肉付されて進められていく。説明した内容について意見をいただくために説明会を設けている。	
2	議会にはほとんど提案されていないと聞くが、その対応はどうなっているのか。	学校再編の問題は議員の皆さんには関心が高い問題である。また、1 月 14 日に全員協議会を開催していただき、説明をしてきた。再度、2 月 19 日に質問を受け説明することを予定している。議員の皆さんを無視して進めてきている案件ではない。	
3	市町村立学校の役割は、主に学校施設設備、条件整備であると思う。6 校を 1 校にすれば、施設設備の予算が浮くわけだが、そこがねらいではないかと考える。学校の合理化ではないか。子どもの学ぶ権利はどのように保証しているのか、その立場が欠けていると思う。	決してそういう発想ではなく、市内の中学校の実態があって、学校としての機能が果たせるのかという状況まできている。子どもたちを学習面、文化・スポーツが行える部活動とかしっかきやらせたいという思いで議論してきた。基本方針にもあるように、1 学年あたりの複数学級が必要ではないかと決定して、串間を背負っていく子どもたちの学校施設は 1 つにまとめていった方がいいのではないかという計画の素案となった。決して合理化という意味でとらえてはいない。	
4	技能教科も 5 教科と同じように大事	技能教科は生きる上で重要であり、配置し	

	<p>であり、その問題を是正しようということではなく、現状を認めながら何とかしていこうという方針だと思う。考え直してほしい。</p>	<p>たいと思う。学校規模によって配置できる職員の数は決まってくる。技能教科を優先してしまうとどこかの教科が足りなくなる。技能教科を大事にすればこそ、勉強して何年も経験された先生を配置する方がいいと思う。</p>
5	<p>素案というが、立派にできている。実施計画まで出来ているがどうなるのか。</p>	<p>6校を1校にする方針決定の中で、どういう学校を作っていけばいいのか議論してきた。細部にわたって具体的に煮詰めていって、どこにも負けない学校を作っていかなければならないという意識で臨んでおり、今後も進捗状況について説明する機会も作っていかなければならないと思う。</p>